

1. 活動報告（事務局 記）

- 3月2日（日）いつも参加されている会員の方の前もって不参加の連絡が14名あり参加人員によっては活動中止の考えでしたが、13名の心強い参加を得て活動を実施しました。残務となっていた池ゾーンの須賀河内川沿いの修復が終わりました。その他蓮田の孟宗竹の埋め込み、草原ゾーン川淵の土もち整理も行ないました。
- 3月15日（土）19年度最後の活動報告です。参加者は15名でした。
 - ① 前回までの修復場所の継ぎ足し作業（真砂の補充）
 - ② 椎茸のほだ木の整木及び椎茸の収穫
 - ③ 勉強会 他（イ）カスミサンショウオの生態に付いて講話と現地確認しました。
 - （ロ）ビオトープ湿地帯のアカガエル産卵状況調査
 - （ハ）総会4月5日（土）参加お知らせ
 - （ニ）新入会員のお知らせ 小田臨さんの奥様政江さん、車地 内藤武顕さん
- 3月17日（月）事務局の原田家で、昨日6時30分、7時12分、9時00分、本日7時20分合鴨の雛が孵化しました。昨日の3羽は今日は餌や水を採っています。本日孵化の雛も羽毛が乾き昨日のヒナと一緒に遊びまわっています。大変かわいく、いとしさを感じます。今は疲れ切って四羽ともお休み中ですが、午後2時くらいには又おきて、人の後を追い掛け回すのではないかと思います。当分疲れますが癒されるでしょう。更に3日目5羽が孵化しました。

2. 今後の予定（事務局 記）

- ◎ 見学者
 - 4月20日（日）青年会議所御一行100名 遊ロードからビオトープ見学案内
- ◎ 行事
 - 4月3日（木） 10時より会計監査 会長他三役と観察隊隊長、監査役計7名出席
総会前準備、厚東川水系・・・協議会との会議事前打ち合わせ
 - 4月5日（土） 平成20年度総会
 - 4月18日（金） 予定。厚東川水系 森・川・海 水環境ネットワーク協議会との打合せ
三役出席
 - 4月19日（土） 午前 池内浮島拡大作業、湿地帯エコアップ
午後 里山自然観察隊（食べられる野草）

3. 来訪者の声（東屋のノートより一部抜粋）

今月はありません。

4. ビオトープ関連 (ビオトープ周辺の植物) 美濃和 信孝

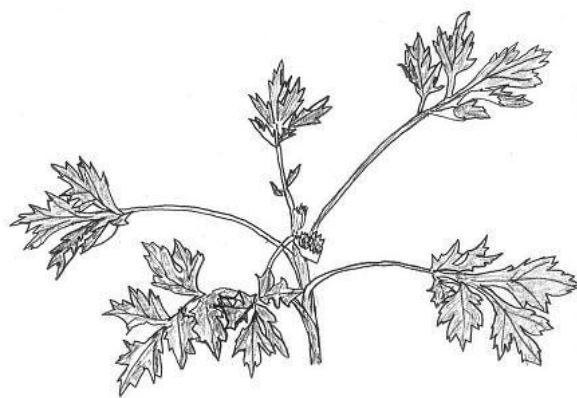
フキノトウとヨモギ

春、一番早く出てくる山菜としておなじみのフキノトウは、フキの花雷 (つぼみ) であることは皆さんご存知でしょう。フキの茎は地上にはなく、地下茎なので、花茎がフキノトウになり、遅れて出てくる葉と葉柄をフキと呼んでそれぞれ利用するわけです。フキは数少ない日本原産の山菜・野菜で、平安時代から野菜としても栽培されてきました。秋田フキ、尾張フキ、京フキなど各地で品種があります。フキノトウの花を包む葉に見える部分は苞 (ほう) に相当します。雌雄異株で、花が黄色いのが雄株、白が雌株です。花が開く前が食べごろで、花が開くころには臺 (トウ) が立った状態になって食べられなくなってしまいます。雌株のフキノトウは種を飛ばす必要から、受粉したあとはぐんぐん臺が伸びますが、雄株は花期が終わるとみずぼらしくしおれて倒れてしまいます。そのころには、今度はフキの葉が伸びてきて食べごろを迎えます。フキノトウは天ぷらにするとあくが抜けておいしく食べられますが、独特の香りとはほろ苦さを生かした汁の実や油と味噌でいためたフキ味噌は春の息吹を感じさせます。

フキノトウの花が開くころ、ヨモギも取り時をむかえます。モチグサと呼ばれるように、草餅の材料としておなじみです。雛飾りに添える菱餅は、白餅・草餅・桃色の餅の3色ですが、旧暦の桃の節供は草餅づくりに欠かせないヨモギの若芽がでる頃に相当します。節句のような節目の日に用いられるのは、ヨモギの持つ強い香りが、悪いものを追い払うと信じられていたからです。また、葉の裏面の白い綿毛をあつめ、お灸に使うモグサとしたり、昔は朱肉の材料にもなっていました。また、切り傷やハチ刺されなどにヨモギの葉を当てるのも、古くから知られていた民間療法です。食用にするなら、生の若葉をゆでてアク抜きをし、ごまあえ、油いためなどに。4月の自然観察隊では、毎年ヨモギの天ぷらは定番メニューです。沖縄ではヨモギの近縁種フーチバー (ニシヨモギ) は古くから野菜として扱われており、雑炊やヤギ肉料理、沖縄そばに利用されます。ヨモギに含まれる有効成分は数多く、中でも特筆すべきは葉緑素 (クロロフィル) です。葉緑素は浄血、増血、殺菌・制菌、新陳代謝の促進、抗アレルギー作用、脱臭など多くの効果が確認されており、ヨモギの葉緑素はその効果がほかの植物よりも強力なうえ、消化吸収がよいという特性を持っているといえます。食べるだけでなく、入浴剤や、最近はやっているのが韓国発のヨモギ蒸しと呼ばれるサウナです。ヨモギ特有の香りによるアロマテラピー効果が新陳代謝を高め、肌荒れや冷え性、腰痛、美肌などにも効果があるそうです。



フキ (フキノトウ) (キク科)



ヨモギ (キク科)

5. 会員の声

(感謝の合鴨)

原田満洲夫

昨年5月合鴨の購入の6羽が害獣にて襲われ、何とか4羽で放鳥し、また同時期にチャボが孵化したカルガモ3羽と一緒に田んぼの除草やビオトープのマスコットとして活躍してくれました。

カルガモの3羽は8月に野生に戻って飛び立って9月には全くビオトープでは姿を見せなくなってしまい、更に9月はじめ合鴨の一羽がまた害獣に襲われ残った3羽でこの冬を越しました。

ビオトープを訪れる方々に本当に愛嬌を振る舞い、子どもさんたちの情緒教育の一端を担うほどの活躍だったと思います。

雄2羽に雌1羽とハーレムならぬ逆ハーレムで一生懸命卵を計35個産んでくれて破卵や水中産卵は試食されまた又クッキーとなって大活躍でした。さらに現在5羽の合鴨の子孫を残してくれまだ残り10個の卵の孵卵中で大感謝です。しかし3月18日一回目孵卵最後の雛誕生の同日親の雌が亡くなりました。運命でしょうか？19日にもう生き返らない事を確認し丁寧に葬ってやりました。「本当に有難う」と言って。

残ったオスは3日間くらい餌も食わず浮島の隅っこでじっとしよげ返っていましたが、21日以後は何とか元気を取り戻しています。また近々新しい命と一緒に泳ぎまわるよう、雛も雄親鳥も訓練したいと思っています。

(は～る (春) ですネ♪♪ 里山歩いてみませんか♪♪)

寺森 正行

陽気続きの3月17日の午後、2ヶ月ぶりにビオトープ周辺を歩きました。メールでカスミサンショウオの速報が入り、状況確認目的で昭和山入り口まで2時間余り探索しました。風のないぽかぽか陽気で汗ばみ、上着・帽子を脱いで春を肌で感じました。

カスミサンショウオは昨年卵嚢を確認しましたが、いつの間にか消失していました。今年多産で、私の他所での経験から推察すると、複数組がここで産卵したのでは……。天敵のアカハライモリはいないので期待したいのですが……。しかし、水面近くにスジブトハシリグモがいましたので前途多難ですが、これも生態系の宿命です。人間が介入せずに、しばらく状況を見守りましょう。

観察種

樹木の花	梅	ネコヤナギ			
草本の花	アマナ	フキノトウ	ツクシズメノカタビラ	コスミレ	
シダ	オオベニシダ	トラノオシダ			
両生類	カナヘビ				
蜘蛛	ヤサガタアシナガグモ	スジブトハシリグモ			
蝶	キチョウ	モンシロチョウ	キタテハ	ルリタテハ	アカタテハ
	チョウ				スジグロ
トンボ	ホソミオツネトンボ sp	(男滝の茂みですぐ見失う)			
昆虫	ビロードツリアブ	ホソヒラタアブ			
野鳥	アリスイ (当地初認)	ミサゴ	ミヤマホオジロ		

追記 アセビ・アオイスミレの開花は未確認です。アキノタネツケバナを少しチェックしましたが、花をつけたものは確認できませんでした。多くのタネツケバナ類とは形態がかなり異なり、やはり別種になるのでは……。？ (今秋の課題です)

今年の冬は予想外の厳冬で、生物季節は1～2週間遅れている印象です。渡り前のアリスイ以外は収穫がありませんでしたが、越冬昆虫は太陽を浴びていて緩慢な動きなのでじっくり観察できました。

6. 里山自然観察隊のアンケートより一部抜粋

- ・ 一年間お世話になりました。とてもよい体験ができました。体験学習こそが、考える力となると思っています。いろいろお世話下さった方々のお力があることも子供に理解させ、感謝することの大切さを教えたいと思います。小学生のうち、色々と体験させたいので来年もよろしくお願いします。(H. T)
- ・ 昨年はお世話になりました。今年も娘と参加出来る限り行こうと思っていますので、よろしくお願いします。今回は新しい企画もあり、よかったですと思います。(J. Y)
- ・ 大変お世話になりました。初めての参加でしたが、親子共々楽しい時間を過ごすことができました。(K. M)
- ・ 今年もお世話になりました。なんだかんだでもう5年、歳をとるはずですね。若いつもりでも体力がと思うことも…。それに比べてスタッフのみなさんのお元気なこと、感心してしまいます。特にキャンプはみなさんお元気で(夜更かしされたにもかかわらずみなさん朝からすごい元気で)本当に感心してしまいました。5年という中でいろいろあって年々忙しくなっていますが、それでも毎年参加しているのは居心地がいいから(もちろん子供が参加したがるのが一番ですが)でしょうね。来年は下の子も5年生、卒業まであと2年と思うとさみしくなります。いつもいろいろな下準備をしていただき、子供達が楽しくすごせるようにいろいろな心遣いありがとうございます。また来年もよろしくお願いします。(N. N)
- ・ 毎年ありがとうございます。自然とふれ合う機会が少ない中、この活動は有意義で、内容、頻度共にちょうど良いと思っています。(S. K)
- ・ 友だちから「いいよ!」と聞いていて、参加させてもらった観察隊でしたが、予想以上の盛りだくさんな内容に驚いています。どれも専門性のある観察内容で、ただ自然に親しむだけでない「観察隊」という本来の目的を達成しているのだなと思いました。これだけのことを企画運営されるのには相当な苦勞がおりだと思えます。ありがとうございます。おかげさまでとても有意義な一年間が送れました。20年度も楽しみにしています。子どもたちに、自然の偉大さ、不思議さに触れてもらい、自分が自然の一部であり、人間と自然との共存を感じることができるよう、素地を作っていきたいと思っています。そういう視点を持てるようになることが、生きていく上で豊かさを生み出せるもととなり、プラスになると信じています。一年間お世話になりました。本当にありがとうございます。お疲れさまでした。(M. T)
- ・ お世話になりました。又来年度も参加したいと思っています。宜しくお願いします。(M. N)
- ・ 蛍の幼虫の実物を見たことありませんので来年度は是非お願いします。(Y. A)
- ・ もちが、おいしかったです。子供だけでなく、親も勉強になりました。ありがとうございます。(N. S)

7. 会よりの連絡事項 (事務局より)

① 入会退会者の紹介

入会者 小田政江さん 小田 臨会員の奥さんです、勤務は(法人)宇部環境技術センター
内藤武顕さん 車地在住の学識経験者です

退会者 伊原邦治さん 山陽小野田市在住立上初期からの会員(県環境アドバイザー)

新加入の会員の活躍をお願いします。また伊原会員お世話になりました。

② 総会のご案内

平成20年度の“総会”を 4月5日(土)9時より二俣瀬ふれあいセンターにて行ないます
常日頃参加が出来ない方も万障繰り合わせて御出席ください。

8. 編集後記

二ヶ月もの間、ビオトープから足が遠のいています。このような状況で編集後記を書くというのは、図々しいと思いましたが、書かせていただきます。

日頃から、もっと働き盛りの若い人に活動に参加してもらいたいと願い、編集後記にもこのことを書いていました。しかし、ここ数ヶ月、私も多忙となり活動への不参加が目立つようになってきました。わが身を恥じる思いです。

ビオトープから遠ざかるとなると、私の周辺で実感できる自然とは、我が家の荒れ果てた庭と隣接する畑だけです。その畑も、昨年までは老夫婦が手入れをされておりましたが、この一年夫婦の姿を見かけることも無く、我が家の庭同然、荒れ放題です。畑の真中に立っている柿の木が、寂しそうに感じます。高齢化による農地の荒廃は、都市の近郊にも及んでいるようです。そのうち、このような農地を活性化するためのボランティア活動が必要になってくるかもしれません。

年度が変わる四月からは、心を入れ替えて活動に参加できるようになればよいのですが。総会で、皆さんにお会いできることを楽しみにしております。

(前田 歳朗 記)